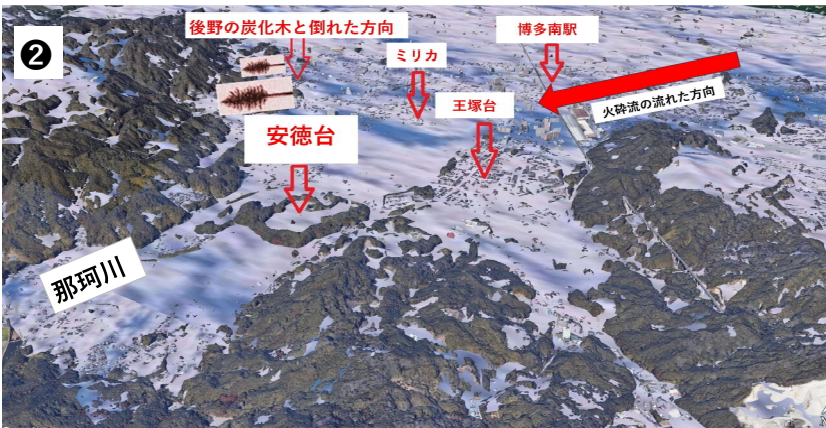


安徳台はいつどのようにして出来たの？

(阿蘇火山の噴火で流れてきた火砕流堆積物が溜まって出来ました)



①安徳台は、約9万年前の阿蘇火山大爆発で流れてきた火砕流堆積物(Aso4;火山灰や軽石、岩の破片)で出来ています。

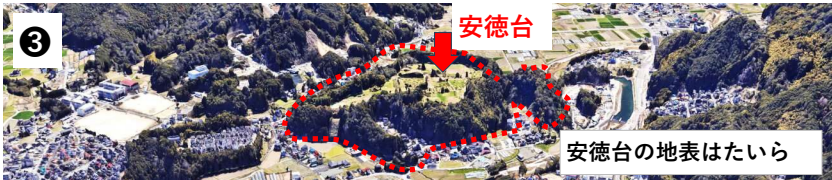


②この火砕流堆積物で那珂川の谷は、今より30m程の高さにまで埋まりました。

③その後火砕流堆積物は那珂川の浸食で無くなり、安徳台などが残りました。安徳台の地表面は殆どたいらです。

④火砕流堆積物は、裂田の溝にある、縦割目(柱状節理)のある黒っぽい岩でこれは宮崎の高千穂峡と同じ時に出来た。主成分の火山灰は溶けたマグマが急冷されて出来たガラスです。

⑤また昨年後野の市民体育館裏で、火砕流堆積物に埋もれ焼かれた、炭化木(炭になっている)も見つかりました。火砕流の温度は数百度ともいわれまだ日本人のいなかった?九州や那珂川一帯は焼野原だったことでしょう。



安徳台は地域の歴史を考える上での貴重な記念物(地形・地質)です。大切にしましょう。

(那珂川市自然環境観察員/地形地質班)

2026.03.20



安徳台の成立ち(約7分)

